

マネジメント共育ネットワーク(MCN)は10月24日、東京・青山の島根イン青山に一橋大学大学院教授・田中一弘氏をお招きし、「日本的経営の倫理:良心による企業統治」と題する第7回経営寺子屋を開催しました。またこれは、MCN設立3周年記念イベントの一環として実施された講演会でもあります。

この中で田中教授は「アメリカ流のストック・オプションや社外取締役導入が日本企業で流行っているが、こうしたアメとムチを使った自利心にもとづくコーポレート・ガバナンスには問題も多い。むしろ日本にもともとあった内発的な良心による企業統治を、新しい時代に即した形で再生させることこそが、これからの日本企業に真に求められることではないか」と力説しました。

当日の講演内容は、田中教授の新刊『日本的経営の倫理』(東洋経済新報社)に詳述されています。

